

令和6年度

施政方針

小国町議会3月定例会が3月5日から15日まで開催され、令和6年度のまちづくりの方針とその予算が決まりました。

令和6年度一般会計予算は70億円で、特別会計と企業会計を合わせた全会計予算総額119億1104万9千円となりました。

今月は令和6年度におけるまちづくりの取り組みを示す施政方針と予算の主な概要を紹介します。

まちづくりの基本的考え方

令和6年度の予算編成に係るまちづくりの基本的な考え方として、地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の基軸である

1 白い森の国を担う「人」づくり
2 白い森の魅力を磨く

「環境」づくり
3 白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり

4 持続可能な行財政運営
の4つの柱に沿って施策を展開することとしています。施策の構築にあたり、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点で精査した上で、限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成を行いました。

令和6年度の主な事業

「人」づくり

次期総合センター建設事業	8億494万円
保小中高一貫教育支援事業	4,079万2千円
福祉医療給付事業	3,909万円
子育て支援センター運営事業	1,110万1千円
歴史民俗資料館整備事業	1,053万3千円

「環境」づくり

町道橋補修事業	2億1,100万円
公共交通運行事業	4,460万9千円
道路維持事業	2,523万2千円
小国の住宅総合支援事業	1,200万円
有害鳥獣被害対策事業	1,141万1千円

「暮らし」づくり

病院事業会計負担金	2億380万円
障害者自立支援給付事業	1億4,913万6千円
新たな森林経営管理事業	2,424万4千円
森林サービス産業推進事業	1,285万6千円
白い森みらい創生事業	1,158万1千円

はじめに

1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、240人以上のかたが尊い命を失い、4万棟以上の住宅が損壊するなど甚大な被害が発生しました。今なお、多くのかたが避難所での暮らしを強いられています。

亡くなられたかたがたに心から哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また、被災地の一刻も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

多発する自然災害に加え、人口減少、少子高齢化など、地域社会を取り巻く環境が厳しさを増す中、誰もが安心して暮らせる「白い森の国おぐに」を構築し、次世代に引き継いでいくためのまちづくりを推進していきます。

白い森の国を担う「人」づくり

■出産、子育ての負担軽減

出産、子育てに関する負担の軽減を図るため、定期妊婦健診費用を助成するほか、町独自の出産支援金に加え、国の制度を活用し、出産応援交付金と子育て応援交付金を交付します。また、出産直後の母子に対する産後ケアの体制確保や、乳幼児健診をはじめ両親学級や子どもの食育事業など、子育てに係る相談体制

を構築するほか、18歳以下の医療費の無料化などを継続し、少子化への対策に取り組みます。

■子育て支援にスマートフォンアプリを活用

母子健康手帳と子育て支援の機能を兼ね備えた、スマートフォン向けアプリケーションの運用を開始し、子どもの健康管理や各種予防接種の調整などの利便性の向上を図ります。

■保小中高一貫教育の推進

本町の特徴的な取り組みである保小中高一環教育を推進するため、学習支援員や学力充実支援員等の配置に加え、ICT機器の専門家による支援の拡充などを通じて、質の高い教育環境を確保し、児童

生徒一人ひとりの力を育みます。また、教育相談員を配置するほか、臨床心理士によるスクールカウンセリングなどを実施し、「個」に応じた適切な支援体制を整備します。

■移住・定住の促進

首都圏で開催される移住イベントに参加するほか、移住者による具体的な生活情報の発信や、移住を検討しているかたと地域とを結ぶマッチングサイトの運営強化を図り、移住・定住を促す施策を総合的に展開します。



▲子育て支援センターが開催する子育て講座（救急救命講習）



▲都内で開催された移住フェアの様子

白い森の魅力を磨く「環境」づくり

■次期総合センターの整備

段階的に準備を進めてきた次期総合センターの建設について、令和6年度は本体工事に着手し、令和7年度中の完成を目指します。

■小国町歴史民俗資料館のオープンに向けて

旧伊佐領小学校を活用して整備を進めてきた歴史民俗資料館について、本年5月の本格オープンに向けて、トイレの改修やインターネット通信環境の整備を行うとともに、当該施設の運営管理をはじめ、展示資料の拡充、企画展の開催などに取り組みます。



▲令和5年度は歴史民俗資料館のプレオープンや地元住民向けの説明会・見学会を実施

■住環境整備の支援

本町の特性に適した住みやすい居住環境を整備するため、住宅の断熱化やバリアフリー化、減災対策などのリフトーム、耐震診断、耐震改修に加え、ペレットストーブ、薪ストーブなどの購入、合併処理浄化槽の設置などに要する経費を支援します。

■湧水および水害対策

田沢頭地内のため池に堆積している土砂を取り除く浚渫^{しゅんせつ}工事を実施し、貯水量を確保して湧水対策や水害等の防止機能を高めます。

■有害鳥獣被害への対策

有害鳥獣の生息状況などを正確に把握して、周辺住民の安全確保や農作物被害の防止につなげるため、新たに最先

■新山道の整備促進

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会や新潟山形南部連絡道路早期実現小国町推進協力会等の関係団体と連携しながら、早期完成に向けた活動を積極的に展開します。

■道路の安全確保

大字沼沢地内の町道川下明沢線の雪崩対策として、道路の拡幅改良に向けて路線測量を行うほか、町道長者原内川線、町道西田沢頭線の整備を

継続して実施します。また、町道橋梁長寿命化計画に基づき、大字五味沢地内かじか橋など6橋の補修工事と大字小国町地内二の滝橋など7橋の補修設計を進め、町道橋梁の万全な安全確保に向けた事業を推進します。

■JR米坂線復旧に係る要望活動

米坂線整備促進期成同盟会をはじめ、関係機関、団体と連携しながら、国やJR等に対し、早期復旧に対する要望活動等に取り組みます。

■公共交通の確保

公共交通の町営バス3路線、デマンドタクシー4路線の運行を確保し、通院や買い物、学校の登下校等の利用実態と利用者のニーズに合わせた、より利便性の高い効率的なダイヤ編成に努めます。

■災害時の対応強化へ

防災訓練等に使用する音響

特集 令和6年度施政方針および予算

機材を整備するほか、火災や遭難救助などに使用する指令車を更新し、円滑な消防団活動体制の確保を図ります。また、避難所における飲料水や非常食などの備蓄品を計画的に更新します。

■上下水道および工業用水の維持管理

上下水道事業では、持続可能かつ安定的な水道事業の実現を目指し、設備や機器等の適正な更新により長寿命化を図るため、計画的に漏水調査を実施するほか、老朽化が進む長沢水源地の電気機械設備を更新します。下水道事業では、令和2年度に策定したストックマネジメント実施計画に基づき、小国浄化センターの汚泥脱水設備の更新や管理棟内の防食塗装などを実施し、施設の長寿命化を図ります。また、安定的な工業用水の供給を図るため、老朽化し摩耗が進んでいる原水供給弁などを更新します。

白い森を舞台とする活き活きとした

「暮らし」づくり

■まるごとブランド構想の推進

白い森まるごとブランド構想の実現に向け、首都圏におけるプロモーション活動の展開や特産品等の積極的なPRに取り組みほか、民間事業者と連携して町内のまち歩き用マップを作成し、「白い森の国おぐに」ファンの拡大を図ります。

■町内産材の利用と木育の推進

3歳児を対象とした町内産木工製品の贈呈を継続し、小国産材と触れ合う機会を創出することにより、地元への愛着心の醸成を図るとともに、町内産木材の利用と木育を推進します。

■森林サービス産業創出の推進

本町の森林セラピー基地をはじめとした豊かで多様な森

林資源と健康や食、文化、スポーツ等を組み合わせた体験プログラムの構築や、それらを活用する企業の誘致に向けたプロモーションを展開し、新たな森林サービス産業の創出に取り組みます。

■林業経営の振興

森林の所有者や境界を明確化し、適正な森林管理による林業経営の振興を図るため、

国土交通省飯豊山系砂防事務所が実施している航空レーザー測量のデータを基に、国、県と共同で森林資源の解析を行います。

■農業の担い手確保と育成

農地の集約や利活用、地域の担い手を具体的に位置づける「地域計画」の策定に取り組むとともに、国の新規就農者育成総合対策事業費補助金及び本町独自の創農チャレンジ給付金により、経営の不安定な就農初期段階の経営安定化を支援し、農業の担い手の確保と育成を図ります。

■農業所得と生産性の向上へ

水稻の生産振興の取り組みとして、肥料や農薬などの価格高騰への対応や、品質水準の確保に必要な土づくり、防除資材購入を支援するとともに、転作田での振興作物の作付拡大を支援し、農業所得の向上を図ります。また、国の



▲森林サービス産業を創出するため本町の森林資源を体験するモニターツアーを実施

産地生産基盤パワーアップ事業費補助金を活用して、大豆の生産性向上に向けた土壌診断や、堆肥となる植物を栽培してそのまま圃場に混ぜ込む「緑肥」の活用などに取り組み農業者を支援します。

■農村環境の保全活動支援

地域共同による農地や農業用施設の維持・管理活動と、農村環境の保全活動を支援する多面的機能支払事業を継続するとともに、中山間地域等直接支払制度を活用し、農作物の生産条件が不利な傾斜地等での農業生産活動を支援します。

■道の駅白い森おぐにの活用

道の駅白い森おぐにの憩いの場の創出を図るため、芝生広場及び植栽したニッコウキスゲ、リンドウ等の適正な管理に努めます。さらに、道の駅を拠点として、豊かな旬の素材を活用しながら多彩なイ

ベントを開催し、誘客の拡大を図るとともに、5年ぶりとなる町民花火大会を含めた夏まつり等の開催を支援します。

■町内消費の拡大と産業振興

小国町商工会が実施するキヤッシュレス決済によるポイント還元への取り組みに対して、消費額の20%相当を補助するほか、白い森ショッピングセンターアスモにおける空き店舗の利活用や、賑わいづくりに取り組み小国いきいき街づくり公社に引き続き支援します。



▲令和6年2月に開催されたスノーフェスティバルでは町内の若者等がつくったスノーランタンが道の駅を彩った

■安定的な雇用の確保

求人活動について、町内企業と町による合同実施を継続するとともに、県内外の教育関係機関への訪問や情報発信に努め、安定的な雇用の確保を図ります。また、町内企業に就職した新社会人を対象に交流会を開催するとともに、就職祝い金を交付します。

■小国町シルバー人材センターへの支援内容の拡充

昨年10月から開始されたインボイス制度や本年11月までに施行されるフリーランス保護法により、小国町シルバー人材センターの運営費と事務量の増加が見込まれることから、同センターに対する支援を拡充します。

■健康寿命の延伸を目指して

高齢化率の高い本町において、健康寿命の延伸のためには、生活習慣病の予防や加齢に伴う心身機能の低下予防が



▲令和5年10月に開催した小国町健康まつりでは「サルコペニア・フレイル予防」についての講演を実施

重要であることから、引き続き小国町健康まつりを開催し、健康づくりに関する正しい知識の普及と生活習慣の改善を図ります。

■病院併設型小規模介護医療院を開設

高齢化の進行に伴う介護・医療に係る需要の変化に対応するため、町立病院に病院併設型小規模介護医療院を開設します。

■がん患者を支援

医療用ウィッグや乳房補整

特集 令和6年度施政方針および予算

具の購入費、山形大学医学部附属病院における公的保険の適用とならない重粒子線治療費を支援し、治療と就労の両立、及び療育生活の質の向上を図ります。

■人工透析患者を支援

人工透析に係る送迎を実施し、町外に通院している透析患者の身体的、経済的な負担軽減を図ることにより、安心して通院できる環境を確保するとともに、送迎事業を利用されないかたへの交通費を助成します。

■障がい者を支援

障がいがあるかたの程度や状況に応じて、移動支援や活動支援、補装具の給付を行います。

また、作業所への通所に要する交通費を支援するほか、タクシー利用券の交付や紙おむつを支給します。さらに、更生医療、育成医療制度を活

用して医療費を助成し、経済的な負担を軽減します。

■訪問介護サービス事業に対する支援

小国町社会福祉協議会が実施する訪問介護サービスについて、原油価格の高騰などから安定的な事業展開が困難な状況にあるため、事業実施に係る経費の一部を支援します。

持続可能な財政運営

■職員の人材育成と民間人材の活用

職員の人材育成として、内閣官房と一般財団法人地域活性化センターにそれぞれ1人ずつ派遣するとともに、全国町村会主催の地域農政未来塾に研修生を派遣します。また、民間企業で培った専門知識や経験、ノウハウなどを生かして、白い森ブランドの推進に取り組んでいただくため、国の地方創生人材支援制度によ

り1人を受け入れるほか、DXの体制整備や推進を図るため、デジタル人材の受け入れを継続します。

■ふるさと納税の効果的な活用

令和5年度、1億7000万円を超える寄附が寄せられているふるさと納税については、令和6年度においても、各種の地域活性化に資する事業に活用し、本町を応援する多様な人々の思いが反映された施策を展開します。

■自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

DXの取り組みとして、国が進める地方自治体の基幹業務システムの標準化に対応するとともに、公図のデータ化や各課が保有しているハザードマップ等の地図データを一元的に管理していくため、その基盤となる統合型地理情報システムを導入し、行政事務の効率化を推進します。

■役場庁舎の長寿命化

役場庁舎の長寿命化を図るため、経年劣化が著しい西側壁面の大規模改修工事を行います。また、高効率な空調設備への改修に向けて実施設計を行うとともに、建築物省エネルギー性能表示制度に基づく認証の取得を目指します。

むすびに

現在、本町では若者世代を中心に、移住というキーワードの下、多様な人とグループがつながり、地域に新たな豊かさを加えています。

これらの新しい取り組みに注目し、さらなる発展を期待するとともに、地域を楽しく暮らしやすく、そして強靱になるよう、引き続きその環境づくりに努めてまいります。

町民並びに皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

※施政方針の全文については、町ホームページでご覧になることができます。

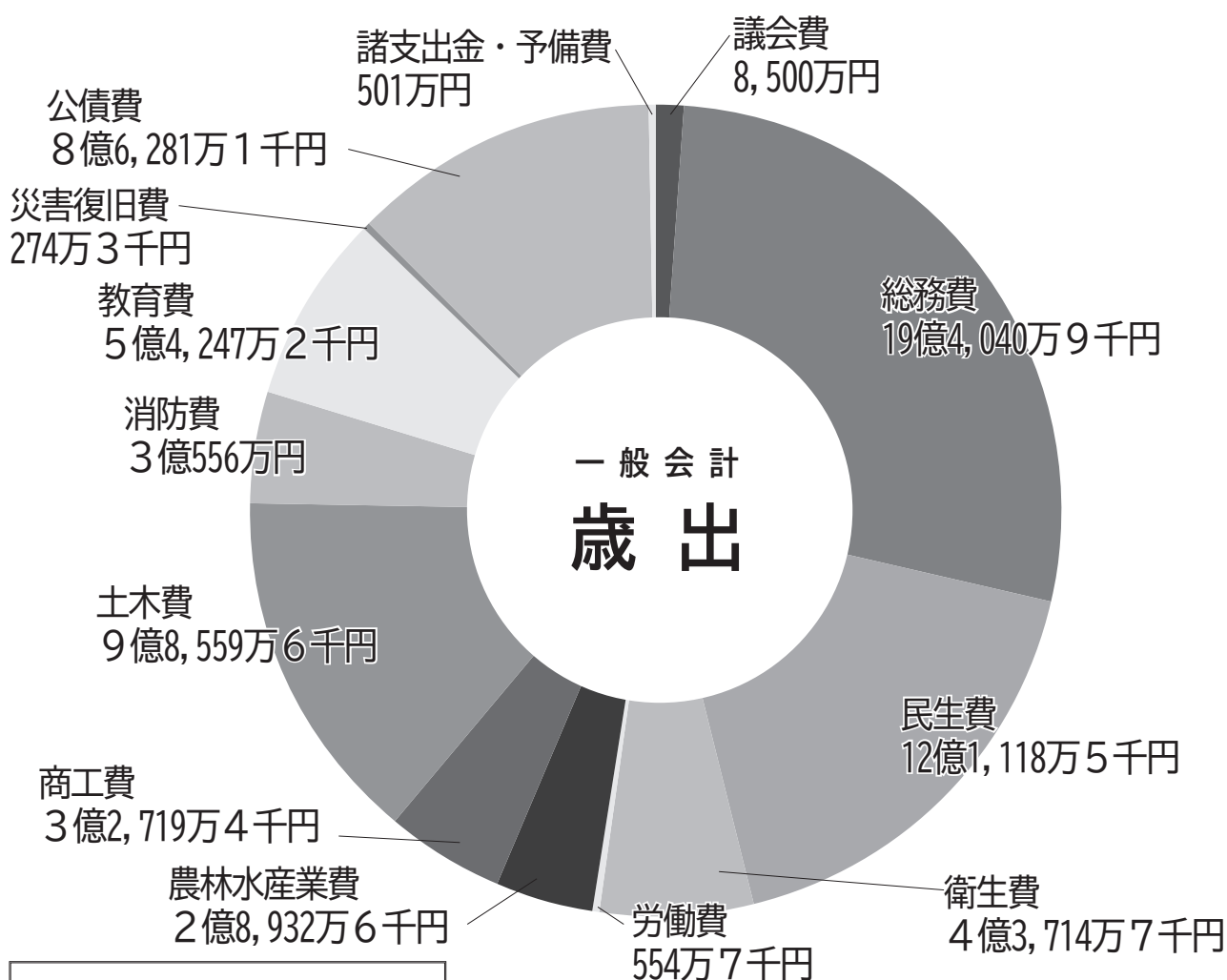


新年度予算概要

令和6年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は70億円。前年度より14.6%、8億9,200万円の増額となりました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた町予算の総額は、119億1,104万9千円。昨年度に比べ5億3,376万1千円(4.7%)の増額となりました。

歳入では、町税が町内中核企業の業績が安定していることや、企業の設備投資等の要因により、固定資産税の増額を見込んでおり、前年度比2.1%増の11億7,765万4千円となりました。歳出では、おぐに開発総合センターの老朽化に伴う次期総合センター建設事業などにより、総務費が前年度比46.8%増の19億4,040万9千円となりました。

※令和6年度予算については、4月17日の駐在員文書で配布される「令和6年度予算のあらまし」でも詳しく紹介しています。是非、ご覧ください。



語句の説明

【歳入】

- 町税 住民の皆さんや法人などに納めていただく税金(町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など)
- 地方交付税 市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税(所得税・酒税・消費税など)として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの
- 町債 町の借入金(借金)
- 国・県支出金 市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

【歳出】

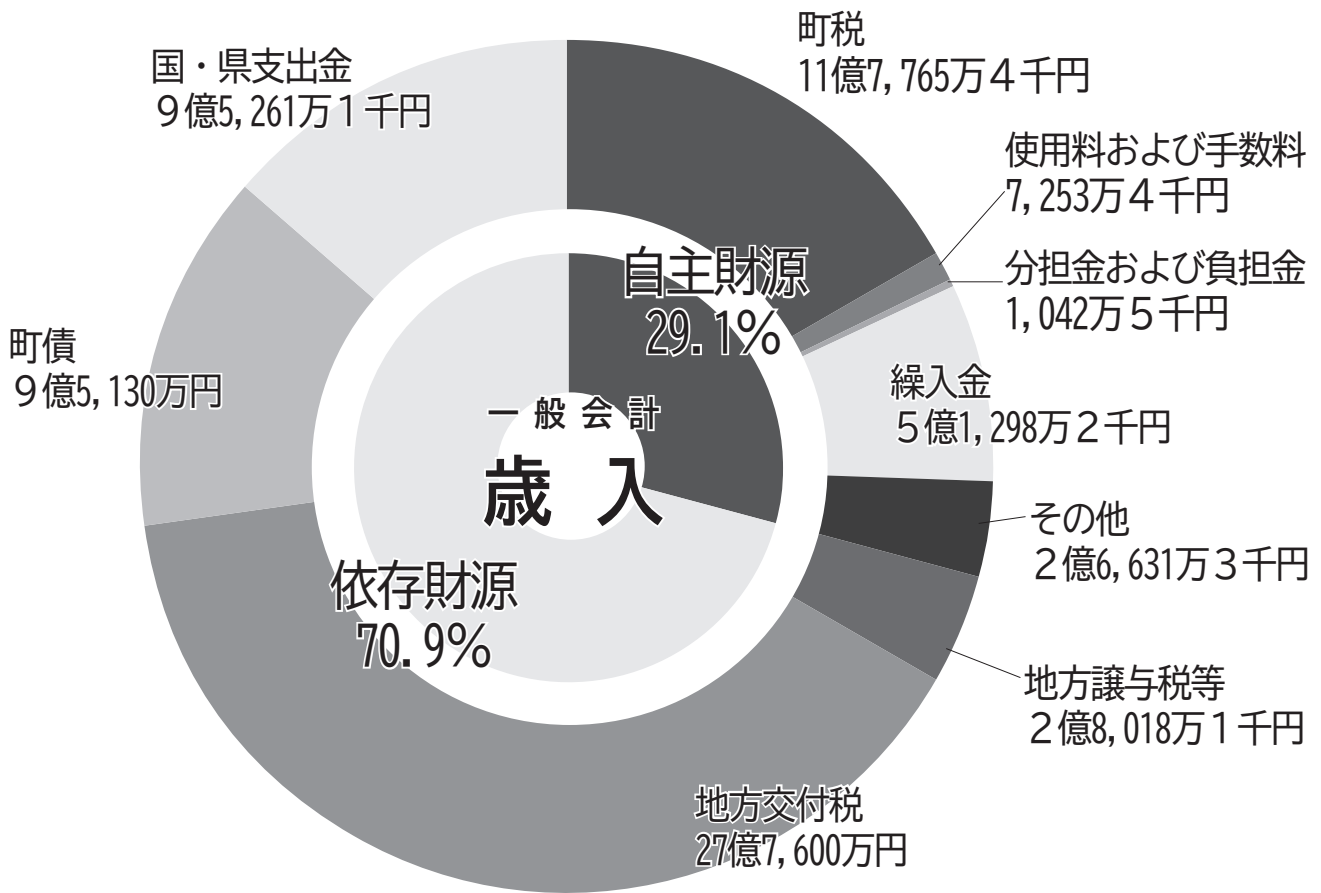
- 総務費 町の運営や選挙、地域づくりなどに関する経費
- 民生費 障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費
- 衛生費 生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 農林水産業費 農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに関する経費
- 商工費 商工業や観光振興のための経費
- 土木費 道路や河川を整備・管理するための経費
- 教育費 教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費
- 公債費 事業を行うため借りた町債の元金・利息などを支払う経費

令和6年度予算

一般会計予算

70億円

(昨年度から8億9,200万円増額)



令和6年度各会計予算総額 **119億1,104万円9千円**
(前年度比4.7%増)

【令和6年度各会計予算】

会計種別	金額	割合
■一般会計	70億円	(14.6%)
■特別会計		
国民健康保険事業	6億9,998万円	(5.9%)
部落有財産	9,600万円	(▲0.9%)
訪問看護	7,420万円	(6.3%)
介護保険	11億202万円	(0.8%)
後期高齢者医療	1億3,624万円	(18.8%)

事業種別	金額	割合
■企業会計		
病院事業	13億2,745万5千円	(2.0%)
老人保健施設事業	4億2,491万円	(3.1%)
水道事業	1億9,774万1千円	(0.7%)
工業用水道事業	1億4,292万4千円	(3.2%)
簡易水道事業	4,448万1千円	(▲24.4%)
下水道事業	6億6,509万8千円	(▲41.0%)